

原発性肺癌非手術症例における術後せん妄についての検討（後ろ向き研究）

「国立病院機構京都医療センターにおいて原発性肺癌に対して手術を受けられた方へ」

当院呼吸器外科では以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られる記録を集計することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる方お一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

「研究課題名」： 原発性肺癌手術症例における術後せん妄についての検討

「主たる研究機関」： 国立病院機構京都医療センター・呼吸器外科

「研究責任者」： 林 一喜(国立病院機構京都医療センター・呼吸器外科)

「研究の目的と方法」： 胸部外科領域において、術後せん妄（手術後、一過性に時間や場所が把握できなくなり、場合によっては攻撃的になったり不眠になったりする状況）はしばしば認める合併症ですが、これまで原発性肺癌術後せん妄について調査された報告はあまりありなく、せん妄発症に関連する因子や、せん妄と術後予後との関連などは明らかではありません。よって、原発性肺癌術後症例においてせん妄発症の関連因子を解析し、せん妄発症の有無と予後との関連を検討する目的で後ろ向き研究を計画しました。2006年12月から2017年1月に当科で原発性肺癌に対して完全切除術を施行された方（重複症例は除外）のカルテを参照し、その背景や生存率、生存期間に関する予後因子を統計学的に検討します。カルテの閲覧は当院呼吸器外科医が行い、カルテ内容が施設外に持ち出されることはありません。また個人情報厳密に保護されます。本研究はすでに当院における倫理委員会で承認されておりますが、この研究の対象となる方々につきましては、ご異存がなければ調査に加えさせていただきたいと存じます。なお、研究結果は学会や出版物として公表することがあります。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。なおその場合においても診療上不利益をこうむられることは一切ありません。

「問い合わせ先」

〒612-8555 京都府京都市伏見区深草向畑町 1-1

国立病院機構京都医療センター・呼吸器外科 林 一喜

電話 075-641-9161 FAX 075-643-4325